

「環境保護を目指した 省エネ半導体デバイス作製の処方箋」

Recipe of Energy-Saving Fabrication of Semiconductor Devices
toward Environmental Conservation



堀田 將

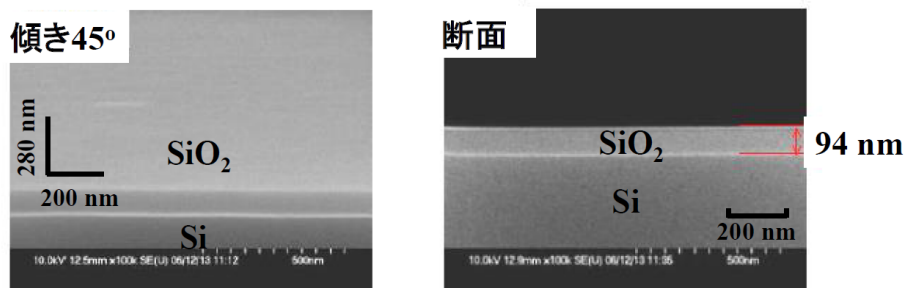
先端科学技術研究科 マテリアルサイエンス系

2017 **1/16(月)** 12:40 - 13:20

会場：ラーニング・コモンズ「J-BEANS」

パソコンやテレビの中には、半導体からなる電子デバイスがたくさん使われていますが、それらの多くは、最高温度が600~1000°C以上の高温を用いて作られています。天ぷらを揚げる油温度が200°C弱ぐらいですから、一般家庭から見ると極めて高い温度です。我々は、オゾンや、シャンプーにも入っているシリコンオイルなどを使い、環境保護を目指して最高温度200°C以下で、半導体デバイスが紙の上でもできないか日夜取り組んでいます。

このセミナーでは、その省エネ半導体デバイス作製法について簡単に紹介したいと思います。

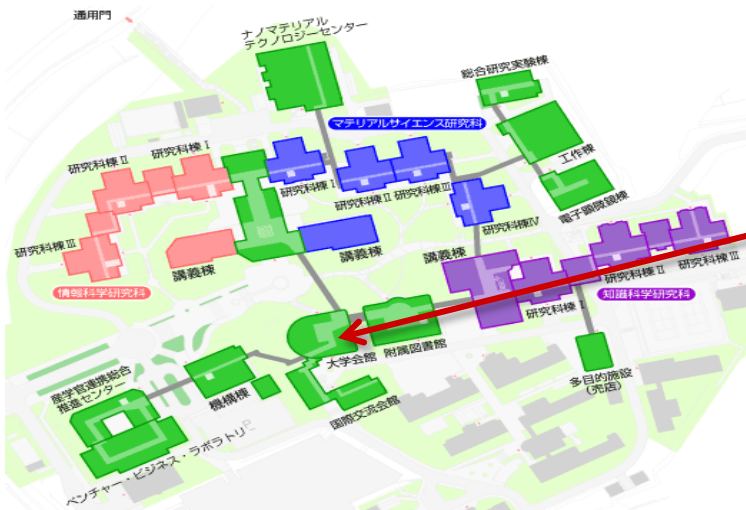


(a) 斜め上からの試料表面

(b) 試料断面

Siウェハ上にシリコンオイルから200°Cで作製した酸化Si薄膜の走査型電子顕微鏡像

The slides are written in English. Foreign audience is welcome!



ラーニング・コモンズJ-BEANSは、大学会館1階です。
J-BEANS is located on the 1F, Institute Hall.

J-BEANSセミナーは、JAISTで行われている研究の知識共有を目指しています。専門家以外も楽しめるセミナーを行いますので、ぜひ講師以外の学系の方もご来聴下さい。

担当教員：先端科学技術研究科 マテリアルサイエンス系
教授 小矢野幹夫